

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 「中山道ぎふ17宿」観光推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 観光資源係 電話番号：058-272-1111 (内 3058)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000千円 (前年度予算額：25,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	25,000	12,500	0	0	0	0	0	0	12,500
要求額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県では「中山道ぎふ17宿」を全国に通用するふるさと自慢として「岐阜の宝もの」に認定し、「地歌舞伎」と併せて、「中山道・地歌舞伎観光推進事業」として一体で観光資源化に向けた磨き上げに取り組んできたところである。

沿線の観光事業者などが提供する宿泊商品や通年型の体験プログラムの自走化に向けては、これまでの取り組みにより一定の成果が得られたところであり、今後は中山道沿道の各地域が民間主導で持続可能な観光地域づくりを進めていくことが重要であるため、今後は県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である(一社)岐阜県観光連盟が、県内中山道沿道の地域の舵取り役となり、ガイドブックやホームページでの情報発信をはじめ、滞在型の周遊観光につながる取り組みに対し支援を行い、観光振興、誘客促進を図る。

(2) 事業内容

- ① 「中山道ぎふ17宿」の情報発信・PR
 - ・沿線の観光・地域資源、体験プログラムを紹介するガイドブックの作成
 - ・情報発信のためのWEBサイトの作成
- ② 「中山道ぎふ17宿」を活用した体験プログラムの実施
 - ・サイクリングイベント (6コース) 催行
 - ・ウォーキングイベント (6コース) 催行

(3) 県負担・補助率の考え方

国の地方創生推進交付金を活用（補助率 1 / 2）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

科目	金額	事業内容
補助金	5,000	体験プログラムの実施、沿線の観光・地域資源、体験プログラムを紹介するガイドブック、WEBサイトの作成
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

（人を呼び込み、地域の消費を拡大するために）

岐阜県観光振興プラン

(2) 事業主体及びその妥当性

「中山道ぎふ17宿」は県が認定した「岐阜の宝もの」であり、これまでの取り組みにより一定の成果が得られたと考えられるため、県が国の交付金事業を活用し、今後は県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である（一社）岐阜県観光連盟が中山道沿道の地域の舵取り役となり、事業主体として実施することが妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

岐阜の宝ものである「中山道ぎふ17宿」に、周辺の観光資源を組み合わせることによる周遊性の向上、地域色ある着地型商品の充実や受入環境の整備に取り組むことで、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。

- 観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり
- 主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション
- 世界に選ばれる観光地づくり

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
観光消費の経済波及効果	億円 (H -)	4,601億円 (H28)	4,175億円 (H29)	4,172億円 (H30)	5,000億円 (R2)	83.4%
観光入込客数（実数）	万人 (H -)	4,696万人 (H28)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,600万人 (R2)	100.1%
外国人延べ宿泊者数	万人 (H -)	101万人 (H28)	98万人 (H29)	102万人 (H30)	150万人 (R2)	68.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・中山道ぎふ17宿歩き旅2020秋、2021春の開催
- ・中山道ぎふ17宿ハイライトウォーキングの開催
- ・WEBサイトを活用した中山道ぎふ17宿の新コンテンツの開発

（前年度の成果）

・中山道ぎふ17宿歩き旅 参加者：3千人見込み

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	岐阜の宝ものである「中山道ぎふ17宿」とこれら周辺の観光資源を観光誘客の拡大に最大限活かしていくため、県と関係市町、団体等が連携の上、「ぎふ・歴史街道」の整備等を進めていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	本事業を通じ、中山道の観光活用に対する関係者間の意識醸成が進むとともに、保存会、観光協会、まちづくり団体等同士の連携が進みつつある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	中山道連携会議を通じ、関係者間の情報共有が図られ、事業が効果的かつ効率的に進められている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業の推進に当たっては、有識者や市町、地元保存会、観光事業者など幅広い分野からの参画や助言を得て、「中山道ぎふ17宿」振興の取組みを実行に移していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜の宝ものである「中山道ぎふ17宿」沿線と宿場を中心とする周辺の観光資源を活用した周遊性の向上、地域色ある着地型商品の充実、受入環境の整備に取り組むとともに、両街道の連携を強化し、観光消費額の拡大に繋げる。 ・「地歌舞伎・中山道事業」の成果として、これまで取り組んできた沿線の観光関係事業者が提供するプログラムやメニューを紹介、PRしていく。 ・観光誘客拡大を図るため、「東美濃歴史街道協議会」とも連携し、市町や保存会、観光事業者と一体的に事業を推進していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	